

ソーシャルワーク研究所 主催
学びの空間「フクロウの止まり木」
事例検討学習会への参加者募集

募集期間

2024年

12/9～26

※書類選考あり

第3弾（2025年2月～5月、全7回、オンライン開催）

ソーシャルワーカーとして成長を続けるために
—「利用者理解」の方法と意義—

●開催趣旨

「膝を突き合わせた関係」を重視するゼミナール方式による全7回にわたる継続参加型プログラムを通じて、ご自身を活性化する「経験」をしてみませんか。第3弾は、募集定員を縮小し、参加者から提出いただいた「事例」一つひとつを丁寧に読み込み、各回ごとにキャストを含めた全員で意見交換を行う方式で開催します。

ソーシャルワーカーとして、いかに「仕事（支援）の質を保ちつつ、自らの存在意義を受けとめてもらえるか」は、直面している困難な時代を対人支援専門職として生き抜くために考えておくべき課題です。現実（理想（理論）通りに動かないことは事実です。しかし、ソーシャルワーカーが、誰のために、何を目指して仕事をするのかという本質を忘れてしまうならば、ソーシャルワーカーは対人支援専門職としての役割を見失うことになりかねません。一人で立ち向かい、解決方法を探ることは決して容易ではありません。第3弾では社会福祉の仕事に就労した際に抱いておられたであろう「夢と希望」を再確認する「機会」と、同じテーマについて考え合う「仲間」の遭遇することで、次の行動に繋げていく「エネルギー充電」の場となることを願います。

～「フクロウの止まり木」とは～

ローマ神話やギリシャ神話の中で「学問の女神（ミネルヴァ）」として登場する「フクロウ」は、夜行性できわめて慎重な生態を示す動物です。しかも、時代を超えて、多様な生命体が複雑に交差する森の中で安心・安全を覚える「止まり木」を見つけ出し、生息過程で得られた「知恵」を伝承しつつ生き抜いてきました。古代の人びとは、そのような生き様を注視し「ミネルヴァ」と名付けたと言われています。この度の呼びかけは、「フクロウ」の秀でた生態に共感できる仲間と出会い、ソーシャルワーカーとしての専門職アイデンティティの何たるかを体験できる「場」となるよう構想してみました。

●キャスト（講師）

渡部 律子

ソーシャルワーク研究所相談役、日本女子大学名誉教授（専門領域：ソーシャルワーク実践理論、心理学〈臨床・社会〉、ケアマネジメント実践論、高齢者福祉論、喪失とストレスコーピング、スーパービジョン）

川向 雅弘

ソーシャルワーク研究所相談役、聖隷クリストファー大学教授（専門領域：高齢者支援領域や障害者支援領域を中心としたメゾレベルのソーシャルワーク論、ソーシャルワーク組織論）

稗田 里香

ソーシャルワーク研究所相談役、東京通信大学教授（専門領域：ソーシャルワーク実践理論、アディクション・アプローチ）、アルコール健康障害対策基本法推進ネットワーク幹事、NPO法人ASK副代表

北川 清一

ソーシャルワーク研究所所長、明治学院大学名誉教授（専門領域：ソーシャルワーク論〈ソーシャル・グループワーク論〉、施設養護論、家庭福祉論）

募 集 要 項

- 1) 募集定員 5名(参加者は「書類選考」とし、提出頂く「参加申込書」をもとに選考します。)
- 2) 募集対象 ①ソーシャルワークを駆使した対人援助職者であると自認している方(社会福祉士や精神保健福祉士等の資格の有無、学歴、職歴、経験年数等は問いません)。
②「フクロウの止まり木」の「目的」にご賛同頂ける方、または、関心のある方。
③原則として全7回のプログラムすべてに参加可能な方(欠席の場合は事前連絡が必要です)。
- 3) 参加費 42,000円(7回分<@6,000円×7回)を全納とします。)
- 4) 募集期間 2024年12月9日(月)～2024年12月26日(木)
- 5) 申込方法 ①「参加申込書(Word形式)」を研究所ホームページからダウンロードし、必要事項の記載後、E-mail(件名:「フクロウの止まり木」申込)で提出して下さい。
②2025年1月10日(金)までに「書類選考の結果」をお知らせします。参加が確定した方は参加費を2025年1月20日(月)までにお支払い下さい。
- 6) プログラム オンライン(Zoomミーティング)で実施します。各回の所要時間は3時間とし、報告事例を活用した参加者全員の討論形式を基本に進めます。講師は、第1回目・第7回目は全員(4名)、第2回目～第6回目は各2名で担当します。なお、事情により内容等は変更となる場合があります。

《日程》

第1回目	2025年2月16日(日) 13:00～16:00 オリエンテーション、講話、意見交換
第2回目	2025年3月9日(日) 13:00～16:00
第3回目	2025年3月23日(日) 13:00～16:00
第4回目	2025年4月13日(日) 13:00～16:00
第5回目	2025年4月27日(日) 13:00～16:00
第6回目	2025年5月11日(日) 13:00～16:00
第7回目	2025年5月25日(日) 13:00～16:00 ディスカッション、講評、意見交換

《事例検討会(第2回目～第6回目)の主な流れ》

13:00～13:10	オリエンテーション
13:10～13:40	事例報告:当番となった参加者(1名)が提出事例の要点を報告
13:45～14:45	事例に関する「理解を深める」:参加者間での質疑応答、講師からのコメント
14:55～15:50	事例に関する「理解の整理」:参加者の振り返り、自由なディスカッション、講師による総括
15:50～16:00	事務連絡

- 7) その他 ①参加が確定した方は「事例提出用紙(Word形式)」を研究所ホームページからダウンロードし、必要事項を記載後、2025年2月3日(月)までにE-mailで提出して下さい。提出頂いた「事例」は「要旨集」として取りまとめ、学習会開催までにお届けします。
②参加者には、事例検討会に参加して「考えたこと」「学んだこと」「疑問に思ったこと」をA4版用紙1枚程度の「振り返りシート」にまとめ、各回終了後1週間以内に提出して頂きます。提出頂いた「(参加者の)振り返りシート」は事務局で整理し、参加者全員で共有できるようにします。また、各回の事例報告者には、担当講師から個別に「応援メッセージ」をお届けします。
③受講を修了した参加者には、ソーシャルワーク研究所から「修了証」をお届けします。
④詳細については、研究所ホームページをご覧ください。

●お申し込み・お問い合わせ先

ソーシャルワーク研究所

〒272-0143 千葉県市川市相之川4-6-3-305

Tel & Fax: 047-704-8007

E-mail: swkenkyu@mail.meijigakuin.ac.jp

URL: <https://www.res.meijigakuin.ac.jp/~kitagawa/>

